

学びの部屋 ～3年生～「音楽 リコーダー演奏」

3年生になると、国語科「書写」では毛筆が加わったり、生活科が社会科・理科になったり、総合的な学習の時間が増えたり、新しく学習する教科やその中で使用する道具の種類が多くなり、学習の幅が広がっていきます。

音楽科では、子供たちが楽しみにしていたリコーダーの演奏が始まりました。兄姉がいて家で練習する様子を見たり音楽会や音楽集会で上級生が演奏しているのを聴いたりして憧れていた子も多いようで、「リコーダーを出してください」と言われると、ウキウキしながら音楽バックの中から出しています。今は、タンギングや指づかいを練習しているところです。今年はコロナウイルスの影響により学校でリコーダーの練習をする時間をなかなかとることができませんが、みんなできれいな音色を聴かせてくれる日がくるのを楽しみにしています。

(高橋 さや香)



学びの部屋 ～4年生～「水はどこから」

社会科「水はどこから」では、水道水がどのような工程を経て私たちの家庭や学校まで届くのか、や、その仕組みや人々の働きを学習しています。普段の生活の中でいつ・どこで水を使っているのかを話し合い、手洗いやお風呂などで毎日沢山の水を使っていることを再確認しました。また、学校では1日に2Lのペットボトルで約9000本分もの水を使っていることを調べました。

今後の学習で、普段当たり前のように使っている水道の水が様々な工夫をして届けられていることを理解し、水を大切にするために自分たちができることを考えてほしいです。

※本校では、6月の学習活動で東京都水道局の方を招いて「水道キャラバン」の学習を行う予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。

(釣 将大)



学びの部屋 ～算数科～「分数のかけ算」

3年生から5年生は、6月は分散登校のために算数科をクラスで学習しました。6年生は、習熟度別の学習がすでに始まっています。どの学年も、4・5月に家庭学習した单元については児童の定着度を確認しながら復習をしました。

6年生は、「分数のかけ算」で「分数×分数」の計算のし方を学習しました。今まで学習した「分数×整数」「分数÷整数」を生かした考え方を発表したり、分数を絵で描き表したりした児童も見られました。

学習指導要領改訂に伴い、算数では「どのように考えたか」という「数学的な見方、考え方」が大切になってきました。既習内容をどのように生かして考えたのか、や、このことを言葉や図を用いて説明をする活動をこれからも大切にして授業に取り組んでいきます。

(岩崎 さやか)